

2011年4月22日

報道関係各位

(株)大塚製薬工場
補正用電解質液 リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL
4月26日 新発売

株式会社大塚製薬工場（本社：徳島県鳴門市、代表取締役社長：大塚一郎）は、補正用電解質液「リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL」を4月26日に新発売します。

「リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL」は、電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質液に添加して用いる補正用電解質液です。これまで、国内においては、リン酸二カリウム補正液が唯一のリンの補正に使用可能な補正用電解質液として販売されてきました。カリウム塩をナトリウム塩に置き換えた「リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL」の発売により、高カリウム血症のリスクの低減につながるものと考えております。

リンは身体の構成成分として、重要な働きをしており、体内のリンが低下した場合、神経障害（食欲不振、いらいら感、麻痺、痙攣、昏睡など）や心筋骨格筋障害といった障害が出現する場合があります。低出生体重児等では、リンの体内備蓄の少なさと発育に伴う需要増加のため積極的なリン補給が必要となります。また、腎不全患者等で経静脈栄養に頼らざるを得ない場合、リンの摂取量不足や細胞内移行により低リン血症が発現する可能性があるため、速やかなリンの補給が重要となります。

一方で、現在臨床現場で用いられているリン酸二カリウム補正液を使用する場合、リンの補給を行う際に、同時にカリウムが投与されるため、カリウムの過剰投与のリスクを伴うため、十分量のリンを補給することは困難という課題がありました。高カリウム血症では心臓停止のリスクが問題となり、実際にリン酸二カリウム液の誤投与により心臓停止に至った報告もされております。

このような背景から、カリウム塩をナトリウム塩に置き換えたリン酸製剤の要望が高まり、関連学会からも開発要望が寄せられておりました。大塚製薬工場は、リスク軽減の観点からカリウムを含まないリン補給製剤の必要性が極めて高いと考え、「リン酸ナトリウム補正液 0.5mmol/mL」を開発いたしました。

株式会社大塚製薬工場は、適正な栄養管理に役立つ情報や製品を継続的に提供することで、臨床栄養の領域における世界の人々のベストパートナーになるべく努力してまいります。

製品特徴

製 品 名	:	リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL
種 類	:	補正用電解質液
包 装	:	20mL 10管 プラスチックアンプル入り 20mL 50管 プラスチックアンプル入り
効 能 ・ 効 果	:	電解質補液の電解質補正
用 法 ・ 用 量	:	電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質液に添加して用いる。
貯 法	:	室温保存
薬 価	:	136 円/0.5 モル 20mL・1 管
製 造 販 売 元	:	株式会社大塚製薬工場
販 売 提 携	:	大塚製薬株式会社

会社概要

株式会社 大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立	:	1921 年 9 月 1 日
資 本 金	:	8,000 万円
代 表 者	:	代表取締役社長 大塚 一郎(おおつか いちろう)
本 社 所 在 地	:	〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数	:	2,489 名 (2010 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容	:	医薬品、栄養製品の製造・販売

大塚製薬株式会社 (Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立	:	1964 年 8 月 10 日
資 本 金	:	200 億円
代 表 者	:	代表取締役社長 岩本 太郎(いわもと たろう)
本 社 所 在 地	:	〒101-8535 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数	:	5,723 名 (2011 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容	:	医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品 <small>の製造、製造販売、販売、輸出並びに輸入</small>

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

大塚製薬株式会社 広報部
〒108-8241 東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー
TEL:03-6361-7379(直) FAX:03-6717-1479
URL <http://www.otsuka.co.jp>

この製品に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

株式会社大塚製薬工場 輸液 DI センター
TEL: 0120-719-814